

道心



禅昌寺通信「道心」第29号

編集 日光山 禅昌寺「道心」編集室
発行 平成20年4月1日
〒732-0002 広島市東区戸坂山根3-2-7
TEL 082-229-0618 FAX 082-229-0822
E-mail : zenshoji@bronze.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.zenshoji.org/

ひとも私も

活かされる己の生き方

禅昌寺住職 横山 正賢

修証義 第九節

懺悔すれば心が磨かれる

其の主旨は、願わくは我れ設ひ過去の悪業多く重なりて障道の因縁ありとも、仏道に因りて得道せりし諸仏諸祖我を懲みて業累を解脱せしめ、学道障り無からしめ、其の功德法門普ねく無尽法界に充滿彌綸せらん、哀れみを我に分布すべし、仏祖の往昔は吾等なり、吾等が当来は仏祖ならん。

「懺悔すれば心が磨かれる」とある人に申しますと「わしは何にも人に迷惑を掛けるような悪いことをしてはいない、だから懺悔をしなければならぬい覚えはない」とおっしゃる方がありました。

仏道で言われる罪過というのは、人に迷惑を掛けたとか、事物に对照して善悪・罪過を申すのではなく。

人間の本性としてある自己中心の貪りや嫉妬とか妬みという愚かき、怒りなどから起こる、己が気づかない内に知らず、知らず犯す罪過を言うのです。

私は古希を過ぎて又住職引退を前にして、これまで過ごしてきた人生をつくづくと考えさせられます。

人間として御仏の御命を授かりながら疎かな生き方をしては来なかったか。三児の親としてその役割はこれで良かったのか、子供や孫達のわがままな一面を見ると。私の最大の欠点の遺伝子ばかりが目につきます。

四十七年前、住職したときはどちらに向いて踏み出せばいいのか暗中模索でした。

ただひたすら日々仏道は如何に、お寺は如何にあるべきか、などと自らに問いかけている内に、四十七年が過ぎ、自分では大きな寺とか、小さい寺とか考えたことはありませんが、人様が禅昌寺は大きいとおっしゃる。

いま率直に思うことは「これで良か

ったのかな、後世に大変な負担を負わせる物を残してしまったのではないかと回顧することが多くあります。

その都度思うことは奈良や京都・鎌倉などの荘厳な叢を思えば「よくぞ護持されてきたものだ」と感心するばかりです。

大寺院と言われる伽藍がどんなに立派であっても、その中で営まれる信仰・仏道といった僧伽（仏道修行の仲間集団を言う）の営みが問われます。

そのように自分の命としての肉体という伽藍が如何に頑丈で長命であつても、我見我慢に満ちた人間であつては、自然や環境、人を生かすこともおろか、授かっている己の命を活かすことすら出来ないで一生を過ごしてしまうことを示唆されているように思います。

例えば愚かで過ち多くすごす人間であっても、懺悔によつて仏道に（真実の姿に）出会い目覚めることが出来たと「諸仏諸祖は過去の愚かきをお許し下さり、懺悔の功德は御仏のお慈悲となつて天地と我とが同時に活かされる姿が現れる」と申されているのであります。

それこそ南無帰依仏・南無帰依法・南無帰依僧の世界なのです。

帰郷のご挨拶

副住職 横山 泰賢

檀信徒の皆様におかれましては、気持ちの良い陽春の日々を如何お過ごしでしょうか。私は、三月末日をもって海外赴任の任期を満了し、すべて引き上げて帰郷しました。現在は、禪昌寺二十四世継承の準備に専

念するべく気持ちを新たに日々精進いたしております。同時に責任の重さと、皆様のご支援ご協力の有り難さを感じております。

一般的に寺院の住職継承時には、伽藍の傷んだ箇所や修復や必要とされる建物の建築など記念事業が伴います。

京都や奈良・鎌倉等日本全国に見られる立派な伽藍が今日ありますのも同様に代々檀信徒の方々の浄財で維持されてきているのであります。

また、先代住職の退董式（退任式）と新命住職の晋山式（正式に住職と

なり、大和尚となるための力量を示す儀式）が行われます。これらの継承事業や法要には、多額の経費も必要となり、皆様にご負担をお掛けしているしだいであります。

このような時には、寺院の僧侶と檀信徒が様々な形で責任と負担を共有し、各々の思いや気持ち、苦悩が滲み出るものであります。皆様の浄財を戴きまして、記念事業も順調に進捗しています。毎日出入りする業者の方々の生き生きとした仕事ぶり、そして新たな気持ちで臨む私の読経、それらの全てをひつくるめ二十四世の継承だと感じております。

つまり、私個人が一人で継承するのではなく、禪昌寺にご縁のある全ての方々が、お釈迦様に導かれ共に継承するのだと思います。そして、二十四世を全うしたとき、皆様と共に築いた二十四代の禪昌寺が長い歴史の一齣として刻まれていくのではないのでしょうか。

私も含め各々思いの丈もあることかとは存じますが、その全てを引き受けて、若輩者ではありますが前向きに努力し皆様と共に歩んで参りたく存じます。



護持会総会を終えて

佐伯区 原 一彦

春の日差しが暖かく注ぎ禪昌寺の梅も満開の三月十五日の彼岸法要には、約百七十名の壇信徒の参拝がありました。引き続き行われた護持会総会では、平成二十二年五月の日光山禪昌寺

第二十三世禅峰正賢師の退董式（引退式）、第二十四世明道泰賢師の晋山式（就任式）記念事業の「奉賛会」「事業計画」「予算案」等の報告がありました。通り、昨年の総会で壇信徒の皆様は記念事業に掛かる経費として、事業計画画総額六千万円のうち、耐震構造改築並びに蔵の新築、事務所の改修・屋根瓦の修理等にかかる四千万円のご寄付をお願いし、八月に企画書を送付させていただきました。

皆様の禪昌寺を護持する強き熱い

気持により一年後の今年三月に、四千万円を上回る申し込みをいただき、約三千五百万円の入金がありました。ご協力に対し心から感謝を申し上げます。有難うございました。

今後は、皆様からお預かりしました浄財を基に平成二十二年の記念事業に向けて本格的に諸準備を進めて参ります。

記念事業としては、道場の耐震強度が基準値以下で早急に補強工事をする必要があり、それに伴い祭壇を設けた大広間にリニューアルして新しく「壇信徒会館」として生まれ変わりました。

また、本堂前庭にベンチを兼ねた石積みの花壇を設置し、車庫・倉庫、屋根補修・外漆喰塗り替え工事等も四月中には終了し、その後に事務所改修等の工事に掛かります。当初予定していた予算より追加工事費が多くなっていますが、範囲内に収めるべく努力しています。

新装なった壇信徒会館を仏事・法事のほか多目的に皆様と共に有効に活用していきたいと考えています。ご意見ご要望等ありましたらお寺へご連絡ください。

最近は家族葬を営まれる方が増え



壇信徒会館より本堂・庫裡を臨む。



改修工事の終わった壇信徒会館。

てきました。お寺での法要は落ち着いて厳粛に執り行われ、宿泊・食事等の手配も出来ます。

葬祭業者のご協力を戴いて、禅昌寺護持会員の料金を安価に設定されています。

これからは仏事・法事・結婚式・披露宴等には檀信徒会館をご利用されるようお勧めします。

正賢方丈さんは、昭和三十七年入山以来四十七年間 薬研堀から戸坂町へ

とお寺の復興・再興に幾多の苦難を乗り越えて広島県下でも有数の格調高い曹洞宗寺院として拡大されました。

泰賢副住職は、大本山永平寺で三年余りの修行をされ、宗門の海外布教活動の派遣で十六年間に渡りアメリカ・イタリア・フランス等外国生活を経験されました。そして日本を外から見る・見た視点で、禅昌寺が益々開かれた寺となり日本古来の良き伝統を重んじ国際的な活動も取り

入れて、これからのグローバル化の時代にふさわしい住職になられると確信しています。

禅昌寺が広島市薬研堀町に建立されて三九五年の節目の年(平成二十二年)に、退董・晋山式の記念事業が執り行われますが、これからも私達の菩提寺禅昌寺を皆様と共に護り支え合って益々発展することを願っております。

平成二十年三月吉日

合掌

すべて言葉は しみじみ言うべし。

愛知専門尼僧堂堂頭 青山 俊董

——女性ばかりの会合で、ある温泉宿

に泊りがけで出かけた時のことです。お風呂の後の夕食が済んでみんなくつろいでいる時、数年前に離婚なさったA婦人が、その時の悔しさやご主人への恨みを

いつ終るともなくしゃべり続けます。

最初のうちはA婦人のお話にあいづちを打ったりして耳を傾けていたのですが、やがて「済んでしまったことを、くどくどと繰り返してもしょうがないんじゃない

の“という顔になってきました。

けれどもA婦人は、そこに居あわせた人々がどんな思いで自分の繰り返りに付き合ってくれているのかまで、心を運ぶゆとりがありません……。

あなたもそうでしょうが、私自身にも思いあたることです。そこを良寛さまは戒めているのです。

一、かえらぬことを幾度も言う
一、人のいやがるも知らず長話

この人に言うべき事を、
あの人に言うのはダメ

同じ『戒語』のなかで良寛さまは、「人の物言いい切らぬうちに物言う」ことも戒めていらつしやる。

それでは、つけっぱなしのラジオのよ
うに切れ目なくしゃべり続ける人に対し
てはどうすればよいのでしょうか。

それには礼儀をもって対処するしかあ
りません。

「お話を途中で折ってごめんなさい」と
必ず前置きして、それからそれまでより
も明るい話題に切り替えるのです。たと
えば、離婚したA婦人には、
「まだお若いのに、再婚のお話はないの」
などと。

ついですけれど「夫婦ゲンカは大も
食わない」と昔からいいますね。夫婦、
恋人同士のいきかい、別れ話の相談など
を受けた時は、決して「別れてしまいな
さいよ」などと軽はずみな答えをしては
いけません。

後で仲直りをしたお二人から、
「あの人は別れると言ったのよ」と嫌わ
れたり、別れたとしても

「あなたの意見に従って別れたから、こ
んなにみじめなことになったのよ」と
逆恨みされるのがオチです。

それは家庭内の嫁・姑のイザコザ、職
場での人間関係でも同じこと。何につけ、
受けた相談ごとへの答えは、慎重に考え
たうえでなさってください。

そのところを良寛さまも「人の言う
ことをよく聞き分けずに、答えをする」
ことのないようにと、さとしておられる
のです。そして社会に出て働いている今
の女性たちが心しておきたい戒語もあり
ます。

一、人の器量のありなし

一、この人に言つべき事を、あの人に言う

器量とは容姿の美醜だけでなく、人物
の大きさ、才能、仕事のできるできない
などをも含みます。

「あの上司は、頭が悪い」「あのコは仕
事ができない」とか、上司、部下、仲間
の器量をランチの時や飲み会で口に出せ
ば出すほど、あなた自身の器は下がって
ゆきます。

また人の言動や仕事ぶりへの不平、批
判を当事者に直接言わずに、第三者に言
つてしまいがちなのが私たち。

それがやがて当事者の耳に伝わった
時——大抵の場合、あなたのことには
オマケが付き、曲がつて伝わります——
相手は、「何で直接言わないんだ」と激
しく怒るでしょう。

『戒語』にあります。

一、いったことはふたたびかえらず

よく「前言取り消し」とか「酔って
たので」といいますけれど、ひとたび口
から出て人の耳に入ってしまった言葉は、
ケシゴムで消すように消すことはできま
せん。

相手が変わっても まったく変わらない

本当に人と人との関係は、言葉によつ

て左右されます。それがわかっていても、
失言するのが、私たち凡夫——普通の
人間です。

一、かしましく、ものいう
一、すべて言葉はしみじみ言うべし

江戸時代の名僧に盤珪禅師という方が
いました。この禅師を慕う盲目の人が、
禅師のことを語った言葉が伝えられてお
ります。

「人が他人に祝い事で、おめでとうご
ざいます」「よかったですね」と言うのを
聞いていると、必ず「うらやましい」と
言う響きがあり、反対に悲しいことがあ
つて、「お気の毒に、気を落さないでね」
とお悔みやなぐさめを言うのを聞してい
ると、「私でなくてよかった」という響き
がある。人情とは、そういうものです。
ところが盤珪さまは違う。相手がどのよ
うな人であろうと、まったく変わらず、
なごやかに語り、よろこびや悲しみのす
べてを、その人と一緒になつて受け止め
ておられる」

この方は目が不自由でいらつしやるが
ゆえにこそ、何気ない言葉の奥にひそむ
人の心を鋭敏に感じとれてしまつたのでし
ょうね。

この鋭敏な感性にハツとすると同時に、
私は自分の口にする言葉の響きに、改め
て耳をかたむけたことです。

◆道心・趣味の会◆

短歌

● 虚勢も希望もあらざる今日のわれは
甕に落ちたる「漱石の猫」

● 庭隅に盛り過ぎたる菊あまた
黄の色失せて枯れ色となる

東区 矢野 淑子

俳句

● いかされていると一声ホーホケキヨ

● 生き生きと天地一杯草木萌え

禅峰

● 春の川流るることをよろこべり

● 猫柳だけが知ってる川の黙

● 春の鳶生死委ねし風に舞ふ

廿日市市 伊藤 順二郎

● 出揃ひて朱をちりばめし牡丹の芽

● 母の味姉妹の絆おでん鍋

● 物憂げな瞳を向けし孕鹿

東区 青笹 俊枝

● 白木蓮今ひらかむとしづかなり

● 千の風信じ安堵す四月馬鹿

東区 河野 貞女

◆行事報告◆(二月・三月)

● 平成二十年元旦

新年ご祈禱法要悪天候の影響か参加者例年に比べ少し寂しかった。

・新春坐禅会例年通り

● 青山俊董老師講演会

三月一日(土)

相変わらず老若男女多数のご参加で盛況でした。

● 彼岸法要・護持会総会

三月十五日(土)

お彼岸法要は今年より法要前に御詠歌同好会の皆様の「御和讃」奉詠と法要解説が付き今までになかった厳かな法要だったとご好評をいただきました。

又檀信徒会館が改築なり、お披露目の会ともなり参加者多数。模擬葬祭の祭壇も設えられ、厳かな雰囲気をお皆さんお喜び下さった。

◆行事案内◆(四月～六月)

● 檀信徒交流懇親会&コンサート

五月五日(月)

ピアノ伊藤 優さん・バイオリン佐田大陸さんをお招きして演奏者の息が伝わってくる距離の生演奏は皆さん感動を覚えることでしょう。ご家族お揃いでご参加下さい。お申し込みは電話でお願いいたします。但し懇親会へのご参加は定

員百五十人になり次第締め切らせていただきます。

● お盆前諸堂大掃除

七月二十七日(日)

午前九時半より十一時半終了の予定、お子さんやお孫さんとご一緒にご参加下さい。

この行事を始めて今年で十年になります。皆出席のお方もおられます。暮れの大掃除の折には何か記念行事をしたいと考えております。

■毎月定例行事

● 上田宗箇流茶道稽古日

毎月一回 第二又は第四金曜日の予定 午後一時から

※お抹茶と和菓子を気軽に楽しむつもりでご参加下さい。

● 御詠歌の会

第二金曜日上午十時より自主練習
第四金曜日上午九時より講師を招いて練習 昼まで

※茶道の稽古及び御詠歌の稽古は講師の都合により変更する場合もあります。初め



「御詠歌の会」新年会

て参加される方は、お寺に電話にてご確認下さい。

■毎週定例行事

● 暁天坐禅会 月曜日・金曜日
毎朝午前五時十分～五時五十分まで

● 水曜坐禅会

午後七時より坐禅・茶話会
終了八時半

● 婦人坐禅会 毎週金曜日

午後一時より坐禅・茶話会
終了三時(第一金曜日のみ坐禅の後、写経・茶話会)



↑仏事・法事のほか多目的に利用できるようになった檀信徒会館大広間。



←少人数の会食や控え室としても利用できる檀信徒会館内部。

原稿募集

皆様の随筆、旅行記、体験談、趣味の短歌俳句など何でも結構です。お寄せ下さい。